

## 三次市立八次中学校通信

校訓『**創造**』 教育目標『**自律と貢献**』～「**本気・感動・探究・継続**」～

## 3学年生徒の進路実現に向けて

今年度より新しい公立高等学校入学者選抜が始まります。3学年は、今まさに自分がこれから進みたい方向を定め、必要な準備をしていく大切な時期となります。1・2学年の皆さんも、3学年の先輩の姿を手本にして、自分の進路を考えてみて欲しいと思います。

入学試験では、小学校、中学校と積み重ねてきた総合的な学力が試されます。これからは、それぞれの志望校に応じた入試対策に、より高い意識をもって取り組む必要があります。

今年度、新たに始まる「自己表現」に向けた準備も着々と進めています。また、出願手続きは、「インターネット出願」となります。内容は、これから配付する「インターネット出願の手引き」に掲載され、生徒には、冬休み明けに、詳しく説明していきます。

## 「自己表現」の3つの観点について

## ①自己を認識する力

(自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのかなど、自分自身のことを認識する力)

## ②自分の人生を選択する力

(自分の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決める力)

## ③表現する力

(自分自身のことや意見などを、相手に理解してもらえるように、相手や場面に応じて、言葉の使い方や、表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる)

この3つの観点を踏まえて、5分という時間の中で相手に伝えようとした時、是非参考にして欲しい視点は、「**本気**」「**感動**」「**探究**」「**継続**」という4つの言葉です。

自分自身について、この4つの言葉との繋がりを意識して、まとめてみて下さい。

例えば・・・

- 私が今「**本気**」になっていることは、〇〇することです・・・中でも・・・
- 私は、中学1年生の時に、〇〇に深く「**感動**」しました・・・それは・・・
- 私の将来の夢は、〇〇です。もっと〇〇を「**探究**」することで社会に貢献したいです・・・
- 私は、小学校1年生の時からこれまで、〇〇を「**継続**」してきました・・・それにより・・・

「自己表現」の中にこの言葉を入れることで、自分の意思が明確になり、相手に伝える力が少しでも強くなればと思います。

「自己表現」は、自分を相手に良く見せようと背伸びするのではなく、今ある自分の姿や考えを無理せず素直に表現していくイメージで臨むとよいと思います。これまで苦労したりくじけそうになったりした時、どのようにして乗り越えたか等、自分の失敗から学んだことを自己開示していくこともよいと思います。何度も繰り返し、自己内でつぶやいて自分の声を聞いてみて下さい。

## 答えのない道徳科の問題 どう解く？ 正解のない時代を生きるキミへ

ポプラ社から、昨年11月刊行された、書籍の中のテーマを、いくつか紹介します。「できる」「学校」「働く」「努力」「ジェンダー」「お金」「熱中」「強さ」「ペット」「我慢」「SNS」「愛」「自然」等に関することです。テーマ毎、様々な視点で、そもそも、キミならどう考えるか、大人から子供まで、みんなで問いについて考えてみることの過程を大切にした内容となっています。

本校では、道徳科の授業研究を通して、他者の考えを聞き、多様な視点で物事を判断したり、相手の立場になって考え、生徒同士の対話を重視しています。

必ずしも答えはひとつではないことにも着目し、生徒が自分で考えて、自分なりの答えを導き出す、その姿勢が、これからの時代を生き抜いていく力に繋がると考えています。

日々の生活や授業の中で、「どうしてだろう？」「なんでだろう？」と考えることが、新しい価値感や視野を広げるきっかけになればと思います。

また、この本を読んだ、全国の小・中学校の教員によるアンケートでは、児童生徒に身に付けて欲しい力として、次のようなことが紹介されています。

- ・自分の考えを、言葉にする経験を積んでほしい（中学校）
- ・目に見えることだけでなく、見えないところまで推測する力を身に付けてほしい（中学校）
- ・多様な集団の中で、上手に生きられるようになってほしい（小学校）
- ・自分と他の人の幸せを考えられるようになってほしい（小学校）

## 道徳科の授業（1年生）から

『バスと赤ちゃん』 主題：社会の中の思いやり

師走の半ば、雪の降りそうな寒い日、混雑したバス内後方に、赤ちゃんを抱っこしているお母さんがいました。満員のため、車内が窮屈で、暖房が熱すぎるくらいのため、赤ちゃんは、とっても苦しかったのか、叫ぶような泣き声をあげました。

バスが停留所に差し掛かった時、赤ちゃんを抱いたお母さんは、何とか前方まで移動し、自分の目的地の前の停留所で「子供が泣くので、一つ前のここで降ります。」と運転手さんに言いました。すると運転手さんは、「ここで降りて目的地まで歩くのは大変です。このまま乗って行ってください。」とお母さんに話しました。そして、バスのマイクをオンにし、「皆さん、このお母さんは、次の目的地まで行くのですが、赤ちゃんが泣いて、皆さんに迷惑がかかるから、ここで降りると言っています、赤ちゃんは泣くことが仕事です、どうか皆さん、少しの間、赤ちゃんとお母さんを一緒に乗せて行ってください。」とアナウンスしました。乗車していた一人が、拍手をはじめ、みんなの拍手に広がりました。お母さんは、何度も頭を下げていました。

### 授業後の1年生の意見

- 色々な立場から、物事を見るようにすれば、誰かに共感することができるようになるのではないかと思います。
- 今、困っている人をすぐにフォローすることで、周りの人も同じ気持ちになっていくということも思いやりの形だと思った。
- 思いやりとは、皆の気持ちを一つにするものだと思った。一人の行動が、皆の行動を変えていくと思った。